

こんにちは 町会です

わがまちのふれあいひろば
町会・自治会へようこそ



銀座三丁目
東町会



晴海
ガーデンコート
自治会



蛸殻町
東部町会



**町会・自治会活動に
参加しましょう!**

わたしたちのまち中央区は、江戸開府以来四百年以上にわたり、わが国の文化・商業・情報の中心として繁栄するとともに、下町特有の人情と連携によりコミュニティを形成してきました。

定住人口も順調に増え続け、昨年十一月には、四十二年ぶりに十二万人台を回復しました。また、赤ちゃんも六年連続で千人以上が誕生しており、まちはにぎわいと活気にあふれています。

あらゆる世代の方たちが、毎日安全で快適な暮らしをしていくためには、地域で暮らす人々との相互理解や信頼関係の構築が必要不可欠となります。地域において、その中心的役割を担っているのが町会や自治会です。

町会・自治会は、地域コミュニティの核として、防災・防犯活動や高齢者への声かけなど、日々の暮らしに密着した活動を幅広く行っています。

特に、防災活動については昨年三月の「東日本大震災」での経験を活かし、防災訓練の実施や災害用備蓄品の一層の充実を図るなど、より安全で安心なまちづくりに取り組んでいます。

さらに、町会・自治会は、盆踊りやもちつきなどの伝統行事も行っていますので、子どもから大人まで幅広い年代の方たちとコミュニケーションを図ることが出来るのも魅力です。

「こんにちは町会です」は、皆さんに町会・自治会のさまざまな活動を紹介することで、加入や参加のきっかけとなることを目的としています。

さあ、あなたも町会・自治会の活動に積極的に参加して、快適な地域社会と活力あるコミュニティをともにつくっていきましょう!

京橋地域

ユニークなイベントを通じて 人の輪が広がる町会

銀座二丁目東町会

会長 松岡 誠一郎さん



毎年八月下旬の日曜日、銀座二丁目東町会が主催する「ハワイアンパーティー納涼会」が行われます。昭和通りの東側を走る木挽町仲



通りを会場として行われるこのイベントは、華やかなフラダンスに彩られるとてもユニークな町会行事です。

当日は、大人から子供まで数多くのダンスチームが、色とりどりの民族衣装でフラダンスを披露します。ハワイアンバンドの生演奏をバックに踊る姿はとても優雅で、踊りが終わるたびに、会場は大きな拍手に包まれます。

また、フラダンスのほかにも、納涼縁日として生ビール、バーベキュー、焼きそば、かき氷などの出店がにぎやかに立ち並びます。子どもたちも、金魚すくいやヨーヨー釣り、ゲーム、くじ引きなどに歓声をあげて楽しんでいきます。

会長の松岡さんは、町会行事とし

てひとときユニークな「ハワイアンパーティー納涼会」の誕生秘話を語ってくれました。

「十五年ほど前までは、『子ども納涼会』を行っていたのですが、子どもの数が少なくなり開催が難しくなりました。そこで、私がBGMにハワイアンを流し、大人たちが生ビールを楽しむ『大人納涼会』にしようという発案しました。当時は反対もあったのですが、継続して開催していくにつれてハワイアンが生バンドになり、フラダンスのチームが参加し、今のようないイベントへと成長していきましました。今では多くの子どもたちを含め、五百人近い参加者でにぎわうまでになりました。また、近隣のフラダンス教室に通う方々の発表の場としても欠かせないものになっているようです。」

「自然と入りたくなる町会」を目指して

銀座二丁目東町会では、町会役員のみならず、青年部や婦人部なども、積極的に地域の方たちとコミュニケーションを図っています。

「ハワイアンパーティー納涼会」では、地域の高齢者クラブ「木びき会」

や民生委員と連携して高齢者を招待しています。参加できなかった方には、焼きそばを届けています。

また、子どもたちに縁日券を配布したり、マンションにお住まいの方にもきめ細かく声をかけるなど、イベントへの参加を通じて町会を身近に感じてもらいたいと思っています。

このほかにも、銀座二丁目東町会は、青年部を中心に鉄砲洲稲荷神社例大祭など近隣の祭りへ参加しています。毎年秋には、「町会日帰りバス旅行」を開催し、会員の楽しみのひとつとなっています。

さらに、地域の安心・安全を守るための防災訓練やビルなどの防火設備の充実にも力を入れて取り組んでいます。

「このまちに引越してきた方が、自然と入りたくなる町会を目指したいです。」と、松岡さん。そのためにも、これからも自分たちも楽しみながら、わがまちを活性化するための活動を積極的に進めていきます。

「ハワイアンパーティー納涼会」のポスター



～町会・自治会ネットをご利用ください～

中央区では、町会・自治会への新規会員の加入促進および町会・自治会同士の情報交換等の連携支援を目的とした「中央区町会・自治会ネット」を開設しています。

このホームページでは、町会・自治会に関する情報について、団体検索や情報検索機能により、**①各町会・自治会のプロフィール、②イベント案内、③活動報告、④名所名店情報、⑤加入のご案内**などが閲覧できます。そのほかにも町会・自治会同士の連絡手段としての掲示板（会員のみの利用可能）や、地域に密着した行政情報などを掲載しています。

まちの魅力を共有する一手段として、「中央区町会・自治会ネット」を積極的にご活用ください。

中央区 町会・自治会ネット

検索

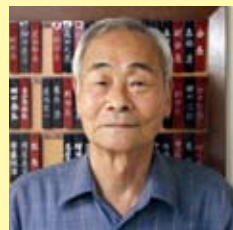
【お問合せ先】 区民部地域振興課自治振興係 03-3546-5337

※中央区のホームページからもリンクがありますので、ご利用ください。



日本橋
地域法人企業や近隣施設が
町会活動を積極的に支援

蛸殻町東部町会 会長 森脇 清さん



蛸殻町東部町会は、日本橋蛸殻町二丁目全域を区域としています。

町内には、神社や学校、ホテル、老舗企業、公園などが立地しており、町会に対して活動場所の提供などの支援を申し出てくれることもあり、それらを有効に活用した町会活動を数多く行っています。

毎年四月に、「新入学生お祝い行事」として、水天宮で祈禱を行います。

七月には、「暑氣払い親子フェスティバル」盆踊り大会を有馬小学校で開催します。



昨年秋には、婦人部の主催による芸術イベント「名曲に楽しむ会」をホテルで開催しました。

町会行事の中で、最もにぎわいを見せるのは、七月に開催する「暑氣払い親子フェスティバル盆踊り大会」です。有馬小学校の校庭にやぐらを組んで踊りを楽しむことができるほか、納涼会として飲食のお店が立ち並び、子どもコーナーでは金魚すくいなどが行われます。

「近隣町会からも多くの方が来られるので、参加者は毎年四、五百人になります。法人会員の企業の方たちも大勢参加してくれますので、地域住民との交流を図る場にもなっています。雨天の場合でも体育館で開催できるので安心です。」と、会長の森脇さん。

このほかにも、町会活動として地域清掃にも熱心に取り組んでおり、町会独自の「クリーンデー」を毎月実施しています。

また、「神田明神神田祭」には町会のみこしを担いで参加するとともに、日本橋三の部連合町会主催の「子ども餅つき大会」では、一度に三升のおもちがつける大きな臼で、約六百枚のおもちをつきます。

これらの町会活動全般に対して、法人会員の企業がさまざまな形で協力してくれるので、とても充実した内容で行うことができます。

「町会役員は、青少年部、婦人部、交通部、保健衛生部、防災部、体育文化部などに分かれています。月一回の役員会のほか、各部ごとにも会合を開くなど、皆さんとても熱心です。特に男性は、仕事をリタイアされた方が多いのですが、自分たちで企画・運営を行うのでやりがいもあるようです。」と、森脇さん。ご自身もリタイア後から、特に意欲的に町会活動に取り組むようになったそうです。

町会独自の防災訓練で
住民の防災意識を高める

また、町会では防災や防犯活動にも力を入れています。中央区主催の防災訓練に加えて、町会独自の防災訓練を実施しています。

町会ではこれまでに五十名ほどが

消防署の救命講習を受け、救命技能認定証を受けています。

東日本大震災のときは、防災拠点である有馬小学校で、三百人近い帰宅困難者の方への対応を行いました。



また、火災報知機の普及も推進しており、日本橋地域ではトップクラスの普及率を達成しています。年末には、防犯と防火を呼びかける夜回りを実施しています。

「災害時において、町会の果たす役割はとても重要だと思いますので、今後も防災活動に力を入れていくつもりです。そのためにも、皆さんに『これは自分たちのまち』という意識をもってもらいたいですね。近年増えているマンションの住人の方たちにもぜひ会員になっていただき、一緒に活動していきたいと思います。」と、森脇さん。安全なまちづくり実現のため、今後もさまざまな防災活動を実施していきます。

～中央区の企業の皆様へ～ 町会では法人企業会員の方も募集しています

都心である「中央区」には、約4万1千の事業所に74万人の従業員が働いています。昨年の3月11日に起きた「東日本大震災」では、首都圏を中心に多くの帰宅困難者が発生しましたが、中央区においては、町会のご協力のもと2千人を超える人々を、19の防災拠点において受け入れました。

町会は、日頃から地域の活性化とともに、行政と連携して防災・防犯活動など安全で安心して暮らせるまちづくりに貢献されています。

法人企業においても、日ごろから町会との連携を深め、地域内での協力体制を築いておくことが大切です。また、盆踊りやもちつきなど、町会が主催するさまざまなイベントに参加することができ、日中多くの時間を過ごす地域の方との交流を図ることもできます。

ぜひ、町会未加入の企業の方は、これを機会に加入しましょう！皆さんの事業所がどこの町会エリアに属しているかなど、町会に関する詳しい情報は、2面下段の「町会・自治会ネット」でもご覧いただけます。



月島地域

震災時の教訓を生かして 自治会独自の防災マニュアルを作成

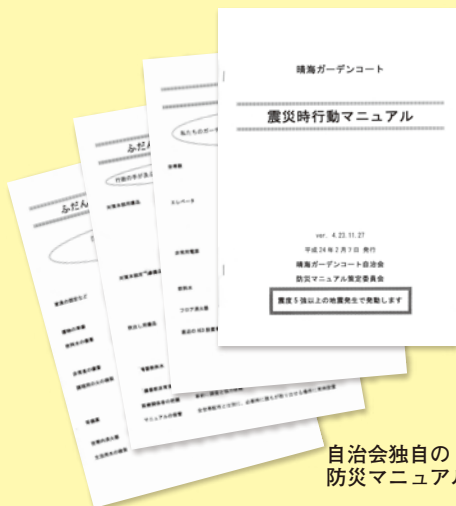
晴海ガーデンコート自治会
会長 松山 秀樹さん



「大丈夫ですか?」「ケガはありませんか?」東日本大震災の当日、会長の松山さんは、もう一人の役員と住民の安否確認に奔走しました。

「十六階建ての集合住宅なので、上層階は揺れが大きかったですし、シルバークロートという高齢者専用フロアがあるので心配でした。」と、松山さんは当時を振り返ります。

その後開かれた役員会で、東日本大震災の経験を活かして「晴海ガーデンコート自治会独自の防災マニュアル」を作成することを決めました。防災防犯部の役員と防災に関する知識が豊富な住民が中心となり、調査や会議を重ねてマニュアルを完成させ、全百四十六世帯に配付しました。「マニュアルは、各フロアの非常ベル



自治会独自の防災マニュアル

の機器内部にも置いて、災害時に取り出して行動することになっていきます。そのため、分かりやすさを第一に考え、内容を簡潔にまとめました。また、災害時の安否確認および避難経路の確保のために、在宅の場合は各戸のドアを開けた状態にしておこうという周知徹底を図っています。さらに、東日本大震災時に問合わせが多かった、『止まったガスの復旧方法』も記載しています。」と、松山さん。

昨年十一月には、自治会で防災訓練を実施し、各フロアごとに自治会役員が安否確認を行い、「安否確認一覧ボード表」を作成しました。また、各世帯には三分の食料の備蓄やカセット式ガスコンロの用意などもお願いしています。

現在の防災マニュアルは、三回もの改訂を重ねたもので、住民の危機意識の高さを表しているといえます。

多彩な活動を通じて 深まる住民同士の連帯感

平成九年に入居を開始した晴海ガーデンコートは、区立住宅ということもあり入居者全員が自治会に加入しています。そのため、自治会活動は活発で、多彩なイベントを企画して、高齢者の方たちとの交流も促進しています。毎月第二日曜日の早朝には、「ウオ

ーキング大会」を開催し、皆でレインボーブリッジを歩いて渡ることを目標に心地良い汗をかいています。

秋には、毎回趣向を凝らした内容が好評の「日帰りバス旅行」を実施しています。昨年は、河口湖や忍野八海の散策、キジ鍋、巨峰狩りなどを楽しみました。

また、特ににぎやかなのは一月の「餅つき大会」で、白や杵でおもちをついて、あんこやきな粉でつきたてのおもちの味を楽しみます。高齢者の方たちも毎回多数参加する、百名規模でにぎわう人気行事です。

さらに、晴海ガーデンコート自治会は、晴海連合町会の一員として、連合町会主催の住吉神社例大祭で子どもみこしをサポートするほか、晴海盆おどり大会や晴海二丁目全体で行うラジオ体操、地域での合同防災訓練にも参加するなど、近隣の町会・自治会との交流も積極的に進めています。

「晴海ガーデンコート自治会の役員は、各フロアに二名で任期は一年です。役員経験者が多いので、皆さん協力的で助かっています。また、毎月開催される晴海連合町会の会合では、地域の問題について協議するので、まちを良くしていくという意識が高まります。今後の目標は、住民同士の理解をさらに深めていくことです。それは、災害時における円滑な活動が出来ることにもつながります。」と、松山さん。

集合住宅の利点を生かしながら、住民同士の連帯感を深め、災害にも対応できる地域づくりを目指しています。

コミュニティふれあい銭湯

中央区では、コミュニティふれあい銭湯として毎月第2・第4金曜日に一人100円(敬老入浴証持参者および小学生以下は無料)で銭湯の湯をお楽しみいただけます。みなさんのご利用をお待ちしています。

平成24年度の後期は、下記の日程となっています。

【開設日】 10月12日(金)／26日(金) 11月9日(金)／23日(祝) 12月14日(金)／28日(金)
1月11日(金)／25日(金) 2月8日(金)／22日(金) 3月8日(金)／22日(金)

※第2金曜日は、季節にちなんで趣向で浴場を飾ります。

【時間】 各浴場営業時間 **【場所】** 中央区内公衆浴場(銭湯) 10浴場

【対象者】 中央区内在住・在勤者 **【入浴料金】** 一人100円 ※ただし、敬老入浴証持参者および小学生以下は無料

お問合せ先 区民部地域振興課区民施設係 03-3546-5623